【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【公開番号】特開2007-68326(P2007-68326A)
【公開日】平成19年3月15日(2007.3.15)
【年通号数】公開・登録公報2007-010
【出願番号】特願2005-251183(P2005-251183)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｋ　41/02　(2006.01)
Ｈ０２Ｋ　41/03　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｋ　41/02　Ｚ
Ｈ０２Ｋ　41/03　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成20年3月11日(2008.3.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
同極が対向するように積層された複数のマグネット、及び複数のマグネット間に介在される磁性材料からなるポールシューを有するロッドと、前記ロッドを囲むコイルと、を備え、前記マグネットの磁界と前記コイルに流す電流によって、前記ロッドをその軸線方向に直線運動させるロッドタイプリニアモータを、複数組み合わせたリニアモータユニットであって、
隣り合う前記ロッドタイプリニアモータ間に、磁性材料からなる磁気シールド板を挟むことを特徴とするリニアモータユニット。
【請求項２】
前記磁気シールド板の前記ロッドの軸線動方向の長さは、隣り合う一対の前記ロッドタイプリニアモータの内、いずれか一方のロッドタイプリニアモータにおける前記ロッドの全長と前記ロッドのストロークの長さの合計以上であることを特徴とする請求項１に記載のリニアモータユニット。
【請求項３】
複数の前記ロッドタイプリニアモータは、前記ロッドの軸線を互いに平行に保つように複数段及び複数列に組み合わされることを特徴とする請求項１又は２に記載のリニアモータユニット。
【請求項４】
同極が対向するように積層された複数のマグネット、及び複数のマグネット間に介在される磁性材料からなるポールシューを有するロッドと、前記ロッドを囲むコイルと、を備え、前記マグネットの磁界と前記コイルに流す電流によって、前記ロッドを直線運動させるロッドタイプリニアモータを、複数組み合わせるロッドタイプリニアモータの組み合わせ方法であって、
隣り合う前記ロッドタイプリニアモータ間に磁性材料からなる磁気シールド板を挟み、隣り合う前記ロッドタイプリニアモータの前記ロッド同士の磁気の影響を少なくすることを特徴とするロッドタイプリニアモータの組み合わせ方法。
【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
上記課題を解決するために、請求項１に記載の発明は、同極が対向するように積層された複数のマグネット、及び複数のマグネット間に介在される磁性材料からなるポールシューを有するロッドと、前記ロッドを囲むコイルと、を備え、前記マグネットの磁界と前記コイルに流す電流によって、前記ロッドをその軸線方向に直線運動させるロッドタイプリニアモータを、複数組み合わせたリニアモータユニットであって、隣り合う前記ロッドタイプリニアモータ間に、磁性材料からなる磁気シールド板を挟むことを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
請求項４に記載の発明は、同極が対向するように積層された複数のマグネット、及び複数のマグネット間に介在される磁性材料からなるポールシューを有するロッドと、前記ロッドを囲むコイルと、を備え、前記マグネットの磁界と前記コイルに流す電流によって、前記ロッドを直線運動させるロッドタイプリニアモータを、複数組み合わせるロッドタイプリニアモータの組み合わせ方法であって、隣り合う前記ロッドタイプリニアモータ間に磁性材料からなる磁気シールド板を挟み、隣り合う前記ロッドタイプリニアモータの前記ロッド同士の磁気の影響を少なくすることを特徴とする。